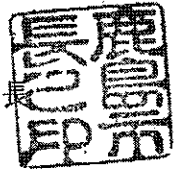


鹿市都建第305号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

鹿 島 市



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

国道企第37号、平成20年9月19日付で依頼があった標記の件について
回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

佐賀県 鹿島市

道路は、人とくらしを支え、安全で豊かな地域社会の形成を図る最も基本的な社会資本であります。特に、鉄道等の公共交通体系が脆弱な地方にとって、道路は地域住民の日常生活と密接な関係にあり、整備を求める地域住民の声には切実なものがあります。

しかしながら、その整備状況は都市部と比べると、大きく立ち遅れ、広域的な地域間交流・連携の障害となっており、「地方の活力ある発展」には程遠い状況となっております。

つきましては、道路関係諸施策の次の事項について、特段の配慮がなされるよう強く要望するものです。

- (1) 地方が真に必要としている道路整備を計画的かつ着実に推進するため、必要な道路整備財源の安定確保。
- (2) 多軸型国土構造の基礎となる地域連携軸を形成する上で、その幹線交通網の中核となる地域高規格道路の早期整備を推進。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

佐賀県 鹿島市

○ 現状

鹿島市では国道207号バイパスの建設を基軸として、国道207号や国道444号の改良、都市計画街路等の整備により、中核都市としての街づくりに努めてきました。

県においては、平成16年度に「佐賀県中長期道路整備計画」を策定し、交流を支える道づくりとして、「西九州自動車道」「有明海沿岸道路」「佐賀唐津道路」「国道498号」の4路線を重点施策として走行性の高い道路での整備が進められています。

東西軸としての有明海沿岸道路は、佐賀・福富間で用地買収や工事が進められているが福富・鹿島間においては環境影響評価の途中で工事着手に至っておりません。

一方の国道498号については、幹線街路として市街地部の整備は完了しているが、他は一部歩道の暫定改良となっております。

○課題

高速交通体系から外れている県南西部地域の当市にとって、経済基盤の強化のため物流網の充実、文化交流や生活圏の拡大など、県境を越えた福岡、長崎県などとの広域交流、物流拠点の利活用を図るうえで「有明海沿岸道路」と、「高速道路への高規格や走行性の高い道路による早期接続」が当市の重要課題と考えます。

②-2 地域の目指すべき将来像

佐賀県 鹿島市

本市の経済基盤強化と活性化を図るためには、広域道路網の整備が必要不可欠であり新幹線長崎ルートを活用した広域観光ルートの形成や人の減少化においての地域力、質の高い地域間の交流連携による魅力的で暮らしやすい特色ある地域づくりのために、「有明海沿岸道路」の早期完成「長崎自動車道への高規格や走行性の高い道路による接続が地域経済の安定的発展につながるものと期待され、本市の道路の主要施策として積極的に取り組んでおります。

様式 ④

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

佐賀県 鹿島市

○重点事項	○代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
特になし	特になし	特になし	特になし